

連続講座「天台本覚思想史」開講のお知らせ

（第1回「本覚思想の定義をめぐって」 講師からのコメント）

今日、日本思想史を少しでも専門的に学んだことのある人なら、「本覚思想」という言葉を聞いたことがあるであろう。本覚思想は平安時代から中世にかけて、仏教のみならず、神道や文学、芸術等、さまざまな分野に影響を及ぼした日本特有の思想として注目されている。本覚思想について言及した論文は数多くあるが、学者間でその概念が共有されていないために、議論が必ずしも噛み合っていない。

そもそも「本覚思想」とは何か。私は、教理内容から「本覚思想」を二種類に分けて考えている。一つは、天台円教に基づく本覚思想であり、もう一つは、『起信論』に基づく本覚思想である。日蓮研究においても、この二種類の教理がきちんと区別されずに議論が続けられているから、まず「本覚思想」の定義を論ずることから始めたい。

【 記 】

日 時 平成27年 10月29日（木）午後6時より

会 場 新宿 常円寺 祖師堂 地階ホール

講 師 花野 充道 先生 （法華仏教研究会 主宰）

聴講料 千円

（花野充道先生「天台本覚思想史」の講義予定）

○第1回講義（10月29日）

「本覚思想の定義をめぐって」

○第2回講義（11月）

「天台智顗と『起信論』の仏身論の対比」

○第3回講義（12月）

「本覚思想の歴史的展開」

○第4回講義（平成28年1月）

「本覚思想と基体説」

○第5回講義（2月）

「天台本覚思想文献の時代設定」

○第6回講義（3月）

「四重興廃思想と日蓮教学」

※未定の日程は、このホームページで毎月ごとにお知らせします。

お申込みは 下記の項目に明記して FAX番号 042-627-7227 へ！

参加者氏名： _____ 歳 男 ・ 女

住 所： 〒 _____

電話番号： _____ 携帯番号 _____